

機器利用技術講習会のご案内

【細孔分布測定装置（ガス吸着法、バブルポイント法）】

大阪府立産業技術総合研究所では、所有している試験研究機器等を用いて中小企業の皆様の新技術・新製品の開発や生産管理・品質管理のお手伝いをしています。これら試験研究機器の利用範囲、性能などの特徴をより具体的にご理解いただき、皆様方に一層ご利用いただくため、下記の要領で講習会を開催しますのでご案内申し上げます。

- ◆日 時：平成23年10月6日（木）13：15～16：15
- ◆場 所：大阪府立産業技術総合研究所（和泉市あゆみ野2-7-1 TEL:0725-51-2518）
当日は、講習開始時刻前に当研究所の玄関ホール講習会開催案内小ボード前に、お集まりください。担当者が講習会場にご案内します。
- ◆定 員：5名（1社2名まで）
※ 受講票は発行しません。定員を超えたときは、お断りする方のみにご連絡します。
※ 受講にはTRIカードが必要です。まだお持ちでない方は当日お申し込みいただけます（無料）。
- ◆費 用：無料
- ◆申込み先：大阪府立産業技術総合研究所 業務推進部 技術普及課
※ お申し込みはメール (fukyu@tri.pref.osaka.jp) またはFAX (0725-51-2509) でお願います。
メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信で受付をお知らせします。
なお、メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をお知らせする「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

◆対象機器：細孔分布測定装置（ガス吸着法、バブルポイント法）

産技研の所有する細孔分布測定装置には、それぞれ測定原理や測定範囲の異なるガス吸着法とバブルポイント法があります。両装置を使い分けることにより、活性炭、多孔質ガラス、アルミナ隔膜、廃液ろ過材、金属製ろ過材、精密ろ過膜など、広範な多孔材料の細孔分布評価が可能です。

ガス吸着法は、BET 比表面積および直径 10～300 Å（1～30nm）の範囲の細孔分布を測定する装置で、粉末もしくは顆粒状の試料であれば測定が可能です。窒素分子を供試体に吸着させ、液体窒素温度における吸着等温線を測定することにより、細孔を検出します。【右上写真】

バブルポイント法は、各種多孔材料のフィルター・分離機能、ガス透過性の評価に利用できます。ASTM F316-86 に準じて、各種多孔材料の貫通した細孔径が求められます。また、ハーブドライ法 ASTM E1294-89 に準拠し、平均流量細孔径、細孔分布などが求められます。本装置の測定範囲は、仕様上 0.035～500 μm です。【右下写真】

講習では、それぞれの測定装置の仕組みや使用方法をご説明するとともに、講習時間の範囲内で、予め当所で用意した試料を用いて測定実習を行います。なお、システム／試料等に関するご質問は、下記講習担当者までお問い合わせください。



◆講習担当：大阪府立産業技術総合研究所（TEL:0725-51-2518）

化学環境部 繊維応用系 主任研究員 松本 哲（バブルポイント法）

化学材料系 主任研究員 渡辺 義人、稲村 偉（ガス吸着法）

大阪府立産業技術総合研究所交通案内図（略図）



和泉中央駅バス乗り場5番から
研究所方面へのバスが出ております
所要時間は約10分です

和泉中央駅発バス時刻
9時～15時：毎0, 30分

機器利用技術講習会申込書
テーマ「細孔分布測定装置（ガス吸着法、バブルポイント法）」
開催日：H23.10.6（木）

企 業 名			
所 在 地	(〒)		
参 加 者	所属：	役職：	氏名：
	※TRIカードをお持ちの方は、恐れ入りますが、氏名の後に「K番号」のご記入をお願いします。		
連 絡 先	TEL：	FAX：	
講習会の情報源	①産技HP ②産技メール配信 ③産技パンフ ④他機関の情報 ⑤その他()		

講習会の案内など、当研究所の関連情報をお知らせする「産技研ダイレクトメールニュース」の配信をご希望の方は、下記にメールアドレスをご記入下さい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- ※ 上記参加申込書に記載された内容につきましては、本講習会の参加者の集計及び下記の目的に使用させていただきます。
- ①お客様からの問い合わせへの対応、当研究所利用に関する手続きの案内など、お客様サポート。
 - ②当研究所および関連団体の催事情報提供などの案内。